LINAX

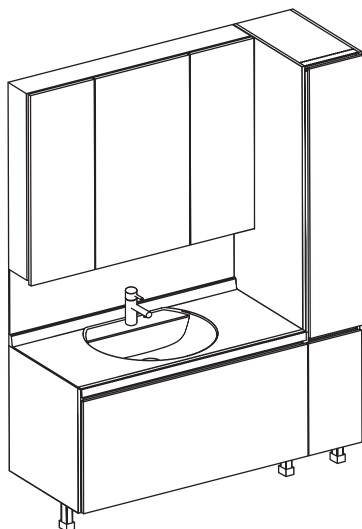
保証書付

ライフデザインドレッサー

LX

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書と、水栓や機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

取付業者様へ
取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

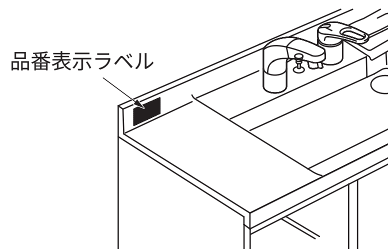
品番を調べる

本体の品番表示ラベルを見る

●品番を調べるには商品に貼ってある「品番表示ラベル」、「パッケージ品番シール」を確認します。
●お問い合わせの際は「品番表示ラベル」、「パッケージ品番シール」に記載された品番および製造番号をお知らせください。

■カウンター

バックガード左端部に貼ってある「品番表示ラベル」を確認してください。

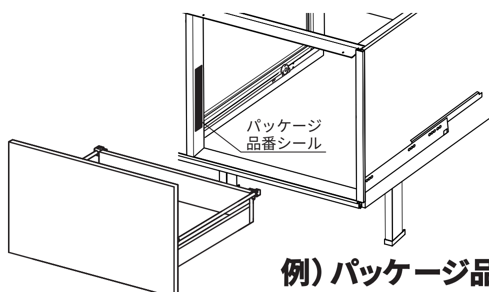


例）カウンター　品番表示ラベル

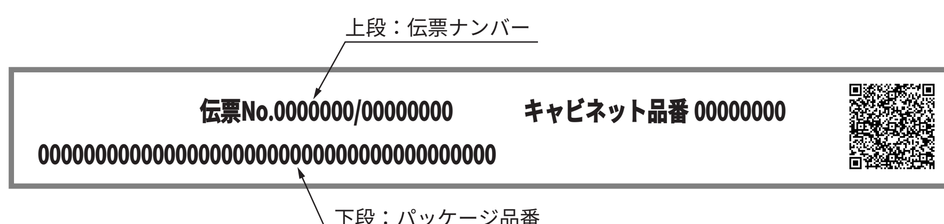


■ベースキャビネット

キャビネット本体内部に貼ってある「キャビネット品番」で品番を確認してください。
※キャビネットのタイプによっては左右反転した位置に貼り付けている場合があります。

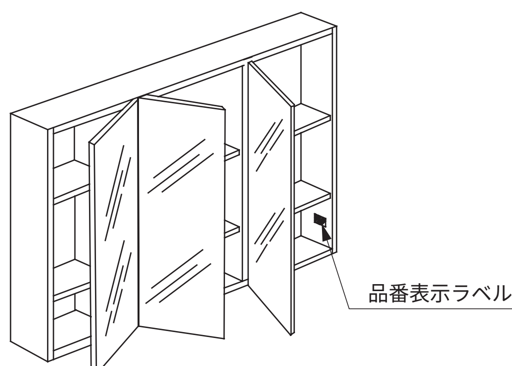


例）パッケージ品番シール



■ミラーキャビネット

キャビネット本体内部の右下に貼ってある「品番表示ラベル」で品番を確認してください。



例）ミラーキャビネット　品番表示ラベル

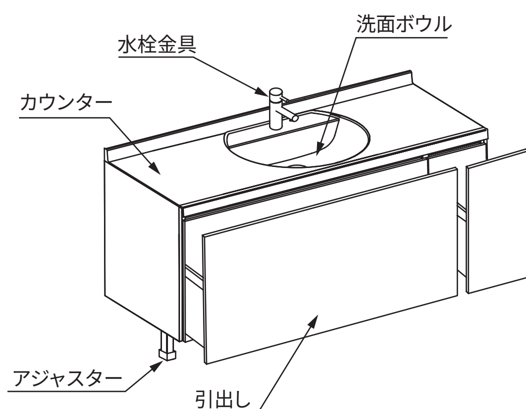


各部のなまえ

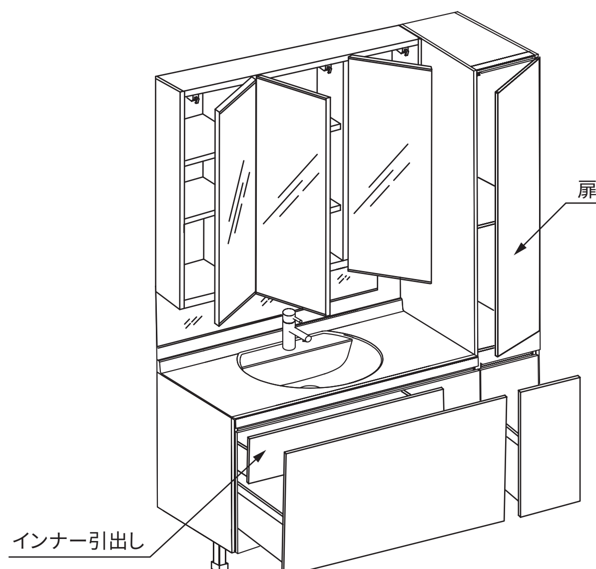
●商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
●図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

各部の名称

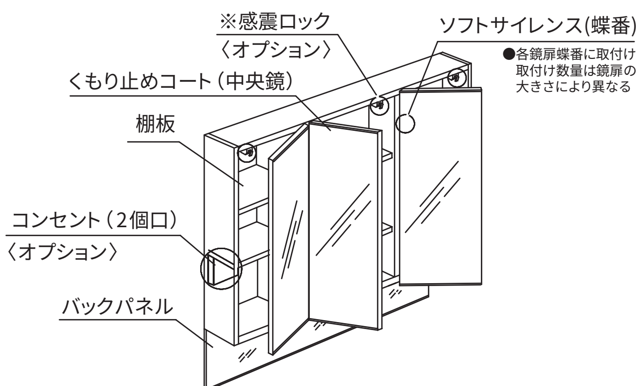
■フロートタイプキャビネット（サイド収納無し）



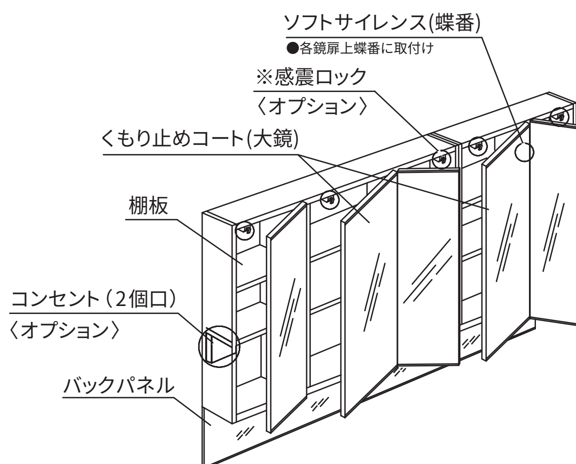
■フロートタイプキャビネット（サイド収納付き）



■ミラーキャビネット3面鏡



■ミラーキャビネット5面鏡



※感震ロック（オプション）とは

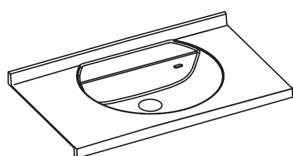
万一の地震（震度4～5程度から）の揺れに対し、自動的にロックがかかり、収納物の不意な飛び出しを防止する機構です。

⚠ 注意

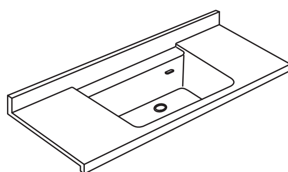
●感震ロックは、全ての地震（小さな震度の場合等）に対して、ロックが作動するものではありません。また、びん等が倒れ扉に当たった程度の揺れに対しても、作動しません。
●ロック機構は、建物の構造、収納物の収納状況（積載過多）、ユニットの使い方等により性能を十分に発揮しない場合があります。



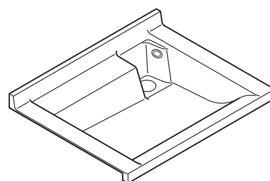
カウンターの種類



サークルボウルカウンター
B1C-600N



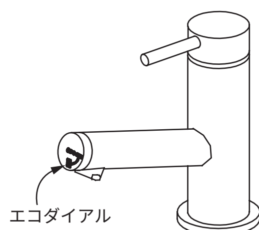
スクエアボウルカウンター
B1S-600N



LJボウルカウンター
B1L-600N

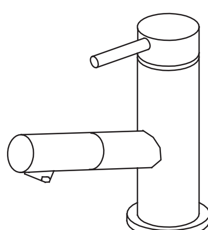
水栓の種類

※記載以外の水栓設置の場合は、水栓付属の取扱説明書をご確認ください。



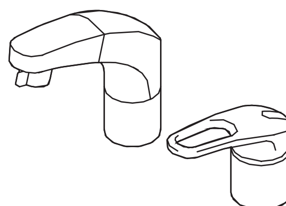
シングルレバー
混合水栓（eモダン）

LF-E340SC（N）-MB3



吐水口引出式
シングルレバー
混合水栓（eモダン）

LF-E345SC（N）-MB

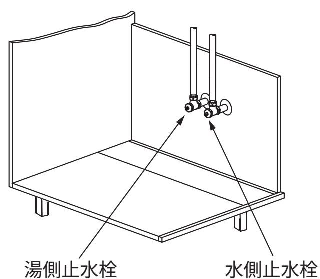


シングルレバー
シャワー水栓

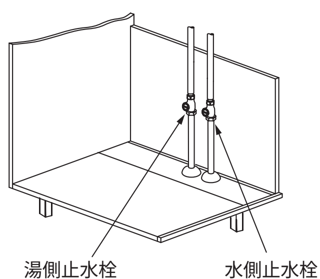
SF-810S（N）-MB2

配管部材の名称

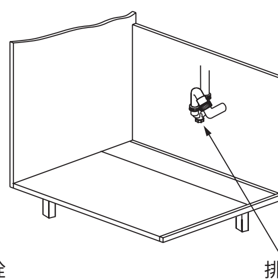
●壁給水



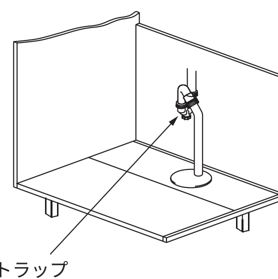
●床給水



●壁排水



●床排水

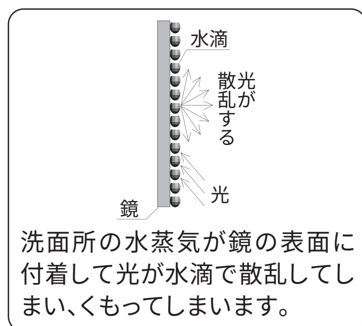


「くもり止めコート」について

「くもり止めコート」のしくみ

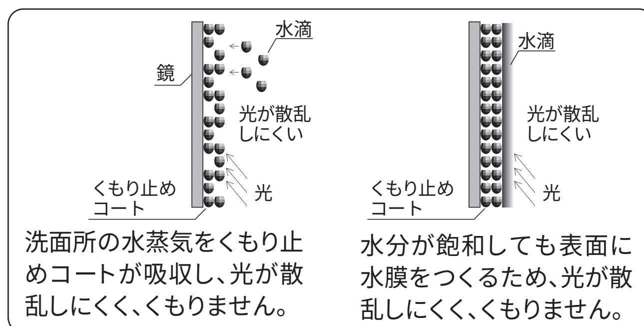
鏡表面に『吸水性』と『親水性』の2つの性質を持つやわらかい樹脂膜がコーティングしてあり、
鏡がくもりにくくなっています。

〈鏡がくもるしくみ〉



洗面所の水蒸気が鏡の表面に付着して光が水滴で散乱してしまい、くもってしまいます。

〈くもり止めコートのしくみ〉



洗面所の水蒸気をくもり止めコートが吸収し、光が散乱しにくく、くもりません。

水分が飽和しても表面に水膜をつくるため、光が散乱しにくく、くもりません。

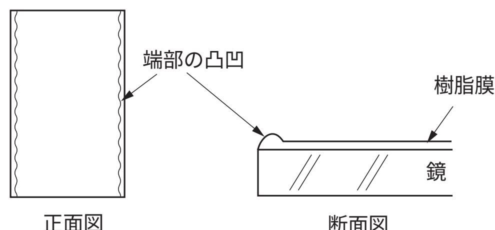
●お風呂場の蒸気などが急激に付着すると鏡像がゆがんで見えたり、くもりが発生することがあります。
くもりが発生した場合はやわらかい布で軽くふき取ってください。

「くもり止めコート」対応品番

3面鏡は真ん中の鏡のみ、5面鏡は大鏡のみくもり止めコート仕様になっています。

ご使用時の注意

●「くもり止めコート」は鏡表面に柔らかい樹脂膜がコーティングされているため端部に凹凸があります。



●鏡表面にテープ、シールなど粘着性のあるものやジェル状の飾り、吸盤などを貼らないでください。
※表面が変色（着色）し、とれなくなります。

●毛染液・化粧品、液体うがい薬等つけないようにしてください。変色した場合は、コットンに中性洗剤（無色）をしみこませたものを1～2時間貼り付けたあと水で洗い流すことで、薄めることができます。
※表面が変色（着色）し、とれなくなります。

●研磨剤入りの洗剤や、固い布・ナイロンたわし等で清掃はしないでください。
歯磨き粉がついた場合は、水を含ませたやわらかい布で軽く拭きとってください。
※表面にキズがつく恐れがあります。

●鏡表面が変色変形した場合やキズがついた場合は補修できません。

※有料修理による部品交換となります。

お手入れ方法

■毎日のお手入れ

鏡表面をやわらかい布で水ぶきした後、乾いたやわらかい布で水分を取ってください。

■週1回のお手入れ

やわらかい布に薄めた食器用中性洗剤（透明）をふくませて固くしぼり、鏡表面の汚れをふき取ります。

お願い

くもり止めコートのお手入れには、研磨剤入りのクレンザーや、古い固くなった布などは使用しないでください。
※表面の樹脂膜にキズが付くと修復できません。



ワンポイント

食器用中性洗剤に含まれる界面活性剤がくもり止め効果をより長持ちさせます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**………… 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ **注意**………… 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ ……………… 「注意しなさい!」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……………… 「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

……………… 「分解してはいけません!」

……………… 「指示した場所に触れてはいけません!」

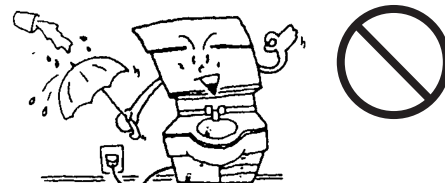
……………… 「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

……………… 「電源プラグをコンセントから抜いてください!」

⚠ 警告

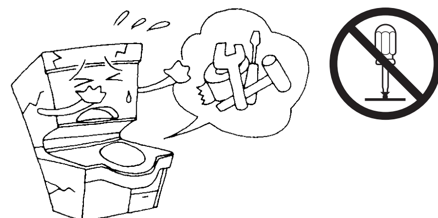
スイッチやコンセント、電源プラグなどの電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。

※漏電や感電の恐れがあります。
※水がかかったら必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などでふきとってご使用ください。



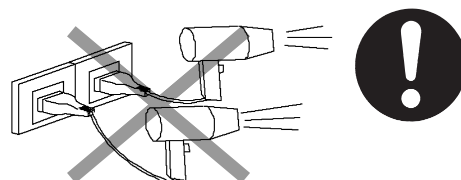
改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※感電や発熱・発火による火災の恐れがあります。



●コンセントは使用電力の合計が1300Wを超えないようにご使用ください。
●ドライヤー・ヘアーアイロン・暖房器具など使用電力（ワット）の大きい電気製品を同時に使用しないでください。

※ミラーキャビネットの配線が発熱・発火により焼損する恐れがあります。

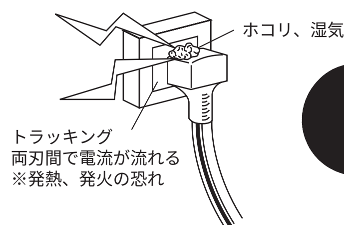


⚠ 注意

ドライヤーなど電気機器の電源プラグは、使用後必ずコンセントから抜いてください。

※電源プラグの刃間にホコリがたまると、トラッキング現象により発熱・発火して火災になる恐れがあります。

※差したままミラーキャビネットに機器を収納すると、スイッチが不意に入り発熱・発火して火災になる恐れがあります。





商品がガタついたり、破損や故障した場合はただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガの恐れがあります。

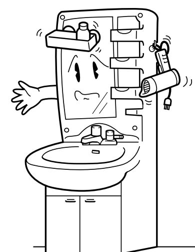
42ページ をご覧のうえ、点検・修理を依頼してください。

※使用中止の際には、41ページ をご覧のうえ、分電盤の安全ブレーカーをお切りください。

鏡や本体に市販のフック吸盤などを取り付けない。



※本体の破損や取付け物の落下により、ケガをする恐れがあります。



次のような異常があった場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。

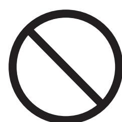
※鏡扉が脱落してケガをする恐れがあります。

●蝶番付近のガタツキが大きくなった。

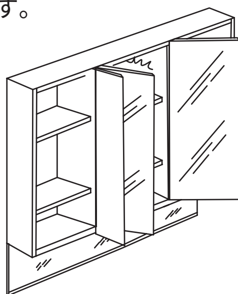
●蝶番の動きが悪くなった。（開閉が急に固くなった、急にゆるくなった。）



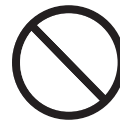
3・5面鏡をご使用の際、中央鏡と袖鏡を同時に開けない。



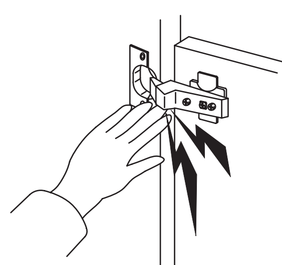
※扉同士が接触して破損し、ケガをする恐れがあります。



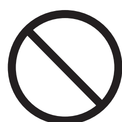
鏡扉を開閉する際、蝶番部に触らない。



※指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



棚やトレイに重いものを載せすぎない。

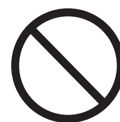


●許容積載量は10cm×10cm。（100cm^2）あたり0.5kgまでです。

※破損や落下により、ケガをする恐れがあります。



ベンジンやシンナー等の有機溶剤を使用しない。
洗剤類、薬剤はそれぞれ使用上の注意に従うこと。



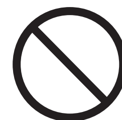
※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

排水口に有機溶剤や薬品を流さない。

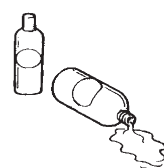
※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。





カウンターやミラー等の樹脂（プラスチック）に化粧品や洗剤を付けたまま放置しない。

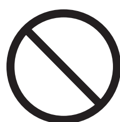
※化粧品や洗剤の中には樹脂に悪影響を与えるものもあります。放置するとヒビ割れや変形して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。すぐにふきとってください。

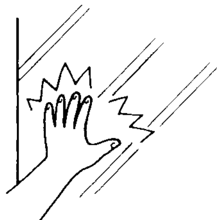




鏡に手をついたり、たたいたりしない。

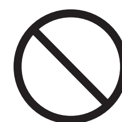
※無理な力をかけると鏡の割れや脱落により、ケガをする恐れがあります。





扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れてケガをする恐れがあります。



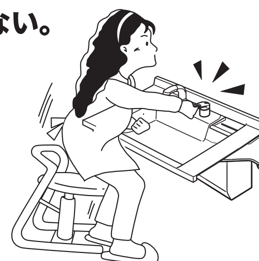
凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。

●水抜き栓がない場合…水栓から少量の水を出したままにしてください。
●水抜き栓がある場合…建築側配管と水栓の水抜き操作を行ってください。（35ページ 参照）
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、拡大損害発生の恐れがあります。



水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

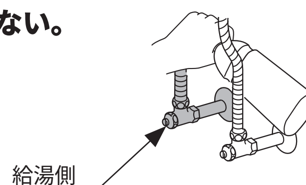
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。





お湯の使用中、使用直後はカウンター下の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。





⚠ 注意

水や蒸気がかかったら、柔らかい乾いた布ですぐにふきとってください。
※フレームのシミの原因になります。



汚れを付着したまま放置しないでください。
※フレームの腐食やシミの原因になります。

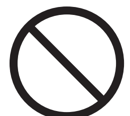


「ヌメリ取り剤」等の固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。
※フレームのサビ・腐食・劣化の原因になります。
※その他の洗浄剤・漂白剤は「お取扱上の注意」をよく読んで使用してください。

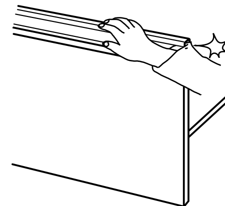


洗面器に熱湯を注がない。
※急激な温度変化により洗面器が割れて、漏水や拡大損害発生の恐れがあります。
常温の水をためてから注いでください。



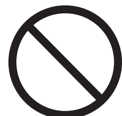


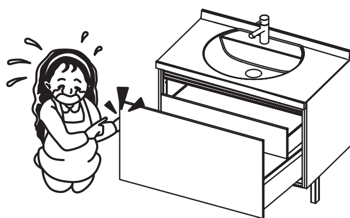
アルミレールの取っ手に手足をぶつけたり、衣服を引っ掛けたりしないでください。
※衣服が破れたり、ケガをする恐れがあります。
（ご使用のプランによっては、アルミレール取っ手でない場合もあります。）





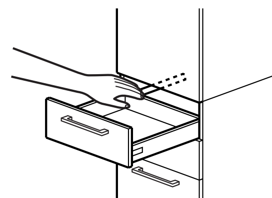
キャビネットの引出しを収める際には、勢いよく収めない。
※反動で引出しが飛び出し、ケガをする恐れがあります。



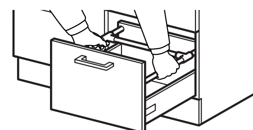


キャビネットのレールにはさわらない。
※ケガの恐れがあります。





引出しを取り外す際は、取り外した引出しを落下させないようにしっかりと引出し側板部を持ってください。また、サイドギャラリー付引出しの場合は左右のパイプを持たないようにしてください。
※サイドギャラリーが外れて引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。







引出しを取り付けた後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている（ガタつき・異常音がしないか）ことを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。



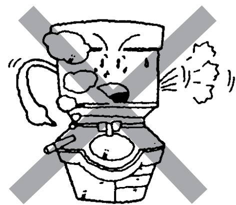
使用時のご注意

故障をおこさないために、守っていただきたい内容です。

お願い

ヒーター等の熱源やタバコ、マッチ等の火気を近づけない。

※変形やコゲ跡がつく
原因となります。



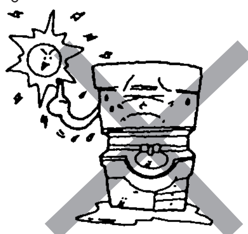
木製キャビネットはぬれたまま放置しない。濡れたらすぐにふいてください。

※木部が水を含んで膨らんだり、
表面がはがれる原因となります。
※金属部がサビる原因となります。



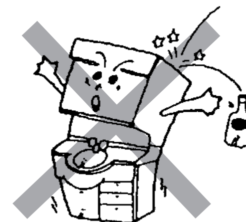
直射日光やスポット照明・殺菌灯を当てない。

※変色や変形の恐れがあります。
直射日光はカーテン等で
必ず遮ってください。



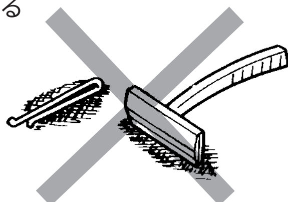
カウンターや洗面器に硬いものを落とさない。

※キズやヒビ割れ、破損の
原因になります。



金属類を放置しない

※サビが付着して取れなくなる
場合があります。



●カウンターに石けんを置くときは、受け皿を使用してください。
●ハンドソープや受け皿の下は石けんカスがたまりやすくなります。こまめにふきとってください。

※カウンターに石けんがついたまま長時間放置すると、
カウンターが変色・変質する場合があります。

●洗面ボウル、洗面器の排水口に小さなものを流さない。

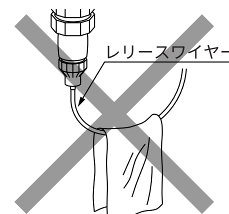
・コンタクトレンズ
・指輪
・キャップ

※排水管が詰まり、排水があふれる原因となります。

●誤って排水口に落としてしまった場合は、水を流す前に29ページを確認のうえ、排水口・排水トラップから拾い出してください。

排水栓のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。
また、収納物が接触しないようにご注意ください。

※レリースの破損や排水栓の開閉不良の原因になります。



●収納許容荷重について

	ベースキャビネット	サイド収納ミドル部
棚板（1枚あたり）	—	20kgまで
底　板	—	20kgまで
引出し	15kgまで	—

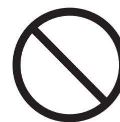
※各部の合計が全体の収納許容荷重を超えないように使用してください。
※収納許容荷重は収納物を均等に載せた場合です。重いものを1ヶ所に集中させないでください。
※収納物の量や大きさにより、引出しなど開閉の操作感は変わります。

ご使用方法

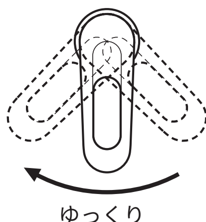
水・湯を使う

⚠ 注意

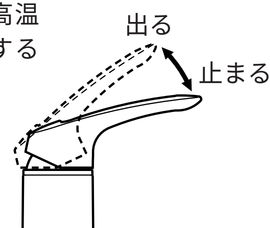
水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったりして無理な力をかけない。
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。



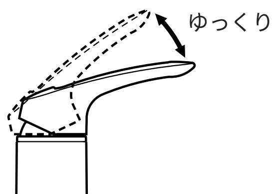
湯を使うときは、水を出しながらレバーハンドルをゆっくりと水側から湯側へ回してください。
※急に回すと湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。



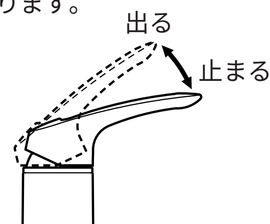
高温のお湯を使った後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次に使うときにいきなり高温のお湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



レバーハンドルはゆっくり操作してください。
※急に開閉すると、急激な圧力変動により配管が破損し、漏水や家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。



断水時は水栓のハンドルを止水の位置にしてください。
※ハンドルが吐水位置のままで断水が終了すると水があふれ、漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

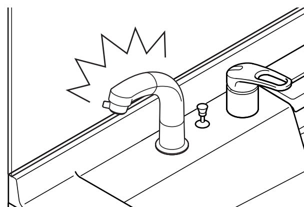


シングルレバーシャワー水栓（SF-810S（N）-MB2）の場合

⚠ 注意

吐水口部を回転させる際には、鏡に当たらないようゆっくり操作してください。

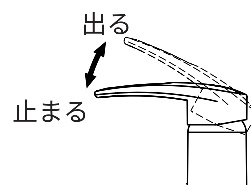
※吐水口部は360°回転します。急に回転すると、吐水口に鏡があたり、キズつく恐れがあります。



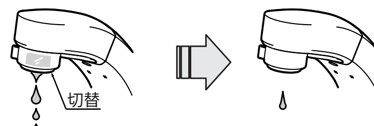


■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると左右どの位置にあっても止水します。

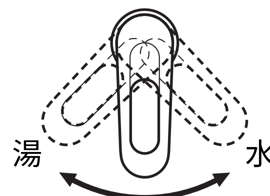


レバーハンドルを閉じて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替の内部に溜まった少量の水が排出されます。



■温度を調節する

レバーハンドルを回します。
吐出温度を上げる………左に回す。
吐出温度を下げる………右に回す。



⚠ 注意

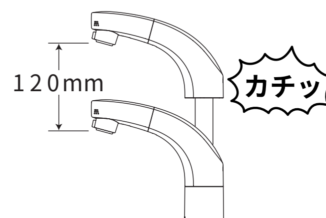
高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。

※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。



■吐水口の高さを変える

吐水口部を握って、上または下に動かします。
上げる……カチッと音がするまで引き上げます。（約120mm上がります）
下げる……完全に下まで降ろします。



⚠ 注意

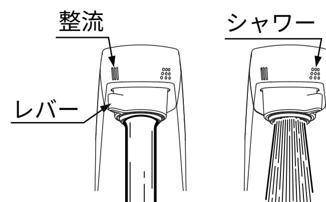
吐水口は一番上もしくは一番下の高さでご使用ください。

※途中の位置でご使用されますと、カウンター下へ水が侵入したり、一番上の高さで固定できなくなることがあります。



■整流吐水、シャワーを切り替える

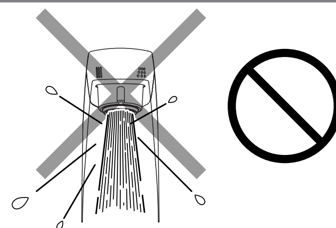
切り替えは止水した状態でおこなってください。
整流吐水使用の時：吐水口のレバーを左側に動かす。
シャワー使用の時：吐水口のレバーを右側に動かす。





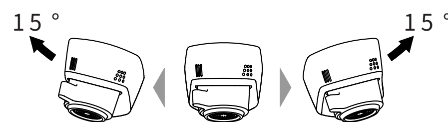
ワンポイント

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。
※中間位置で吐水すると、吐水が乱れて周囲に水が飛び散りますので
ご注意ください。



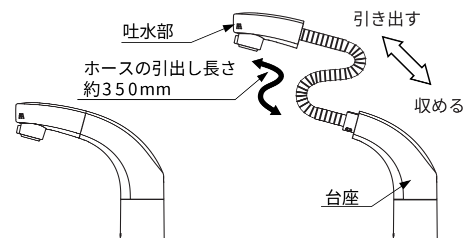
■吐水口の向きを調節する

吐水口のヘッド部分を回すと、吐水口の向きが変わります。
左右15°ずつ、計30°回転します。
お好みの角度でご使用ください。



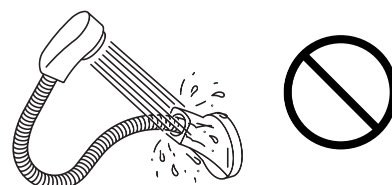
■吐水部を引き出す

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。



⚠ 注意

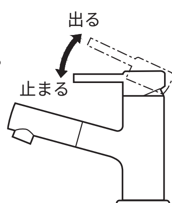
吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の
恐れがあります。



吐水口引出式シングルレバー水栓（LF-E345SC(N)-MB）
シングルレバー混合水栓（LF-E340SC(N)-MB3）の場合

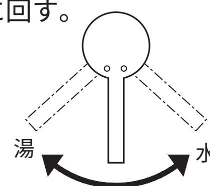
■吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、
左右どの位置にあっても止水します。



■温度を調節する

レバーハンドルを回します。
吐出温度を上げる………左に回す。
吐出温度を下げる………右に回す。



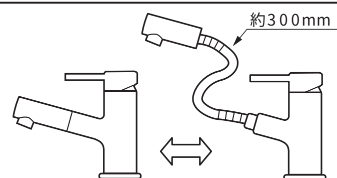
⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。



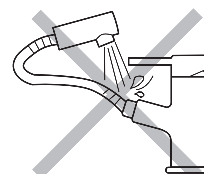
■吐水部を引き出す（LF-E345SC（N）-MBの場合）

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。



⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



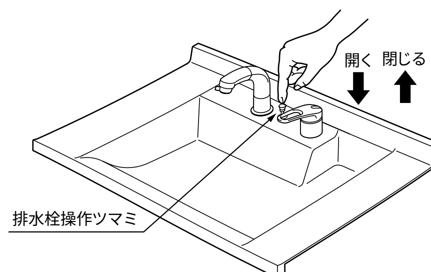
排水栓を開閉する

■排水栓を開く

排水栓操作ツマミを押します。

■排水栓を閉じる

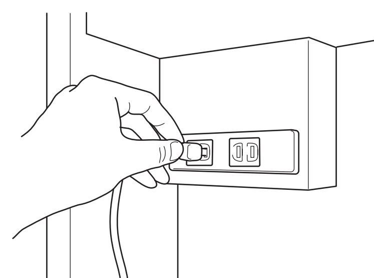
排水栓操作ツマミを引き上げます。



コンセントを使う

プラグをまっすぐ差し込みます。
ミラーキャビネットにあるコンセントの使用電力は合計1300Wまでです。

内部コンセントをご使用される際、
キャビネットと扉の間にコードが挟まらないよう
扉を開けてご使用ください。



棚板の取付け・取外し（サイド収納）

⚠ 注意

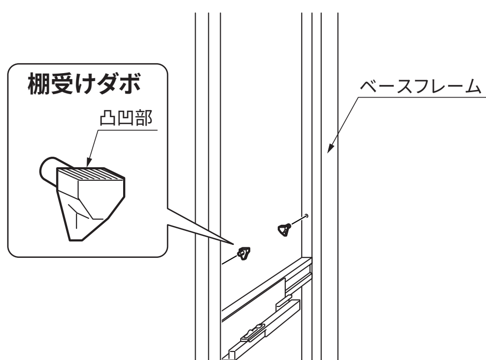
棚受けダボはフレームに完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。

※棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

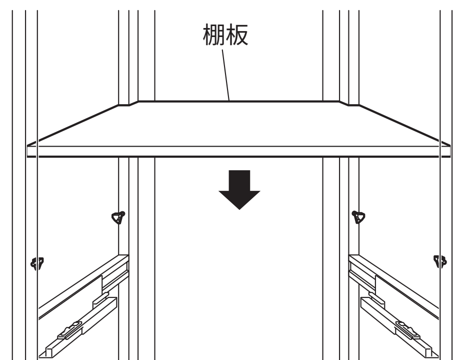


棚板を取り付ける

① ダボを差し込む
ベースフレームの内側面に棚受けダボ（凸凹部が上になるように）を完全に差し込みます。



② 棚板を載せる
上方から棚板を棚受けダボにセットします。



棚板を取り外す

「棚板を取り付ける」と逆の手順で取り外してください。

ご使用方法

棚板の取付け・取外し（ミラーキャビネット）

⚠ 注意

棚受けは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなく
しっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。
※差込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

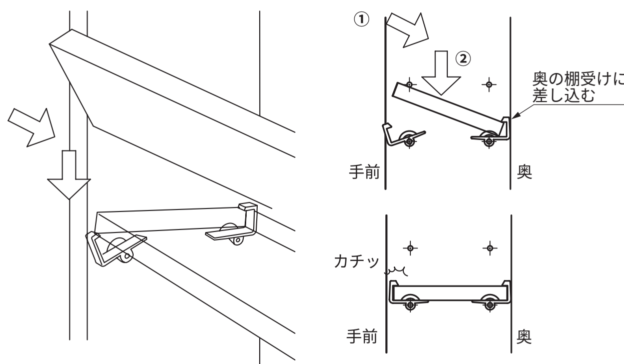


棚板を取り付ける前に
キャビネット側面の取付穴に棚受け（1枚につき4個）をしっかり差し込みます。

棚板を取り付ける

① 棚板の奥側を棚受けに差し込みます。

② 棚板の手前を棚受けに合うように
棚板をはめ込みます。
カチッと音がなり、棚板がはめ込まれた
ことを確認してください。



⚠ 注意

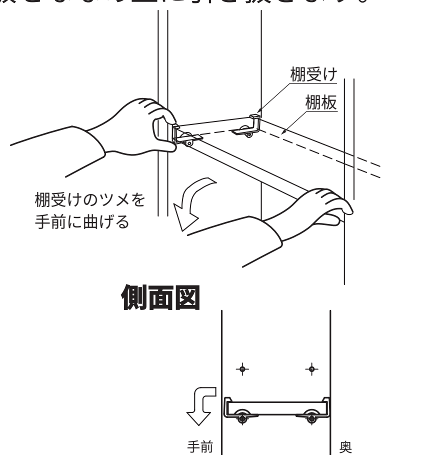
差込みが不十分ですと、
棚板が落下することがあります。
※破損やケガの恐れがあります。



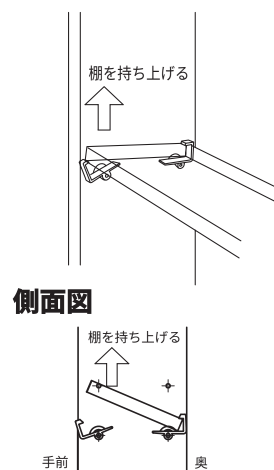
棚板を取り外す

① 棚板の左右の棚受けのツメを手前に曲げながら、棚板の手前を上げます。

② 棚板をななめ上に引き抜きます。







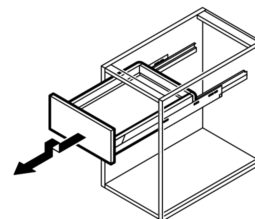
⚠ 注意

棚板がしっかりのっていないまま使用すると、
物品や棚板が落下することがあります。
※破損やケガの恐れがあります。



キャビネットを使う

フロートタイプキャビネットの引出しを取外し・取付ける

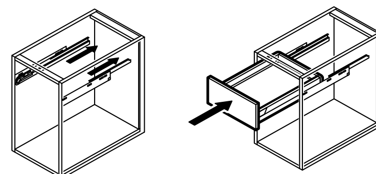


■取外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ（コンという音がしてロックが外れます）、さらに手前へ引き出します。

■取付ける

①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
②引出しを受けレールに載せ、奥まで押し込みます。
　その際、カチャカチャッと音がしてロックされます。



⚠ 注意

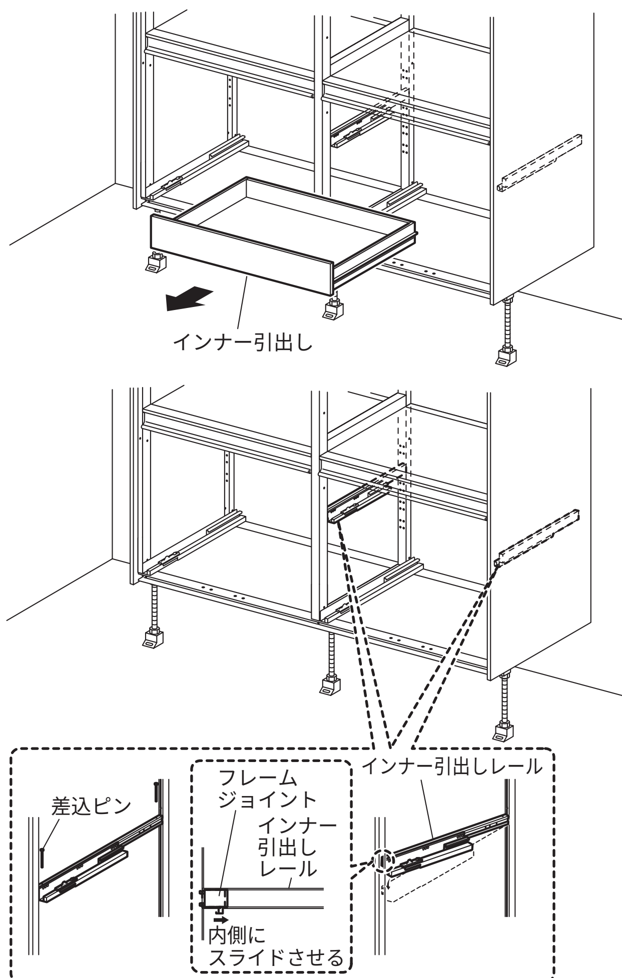
引出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。

※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。



インナー引出の使い方（オプション）

インナー引出しの外し方・取付け方



外し方

①インナー引出しを本体受けレールから取り出します。

②差込ピンをレールフレーム上部より引き抜きます。

③インナー引出しレールの手前側のフレームジョイントを内側にスライドさせながら、インナー引出しレールを取り外します。

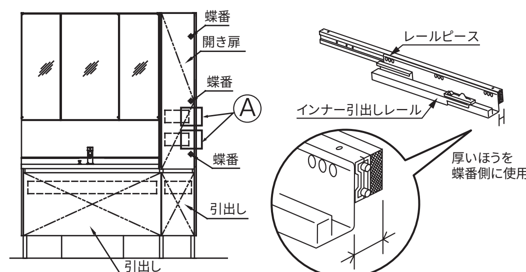
④インナー引出しレールの奥側のフレームジョイントをベースフレームより取り外します。

取付け方

取外しと逆の手順で行います。

⚠ 注意

洗面化粧台で開き扉部にインナー引出しを取り付ける場合、蝶番側のインナー引出しレールは、レールピース厚みが厚いほうを取り付けてください。（下図の場合、Ⓐ部）



⚠ 注意

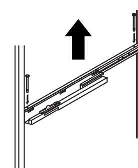
差込ピンは必ず最後まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

※差し込みが不十分な場合、使用中に引出しが落下しケガをする恐れがあります。



ワンポイント

差込ピンの脱着時、構造上差し込みにくい場合があります。その場合はインナー引出しレールを持ち上げながらピンを抜きはずしすると、簡単に取り付けることができます。



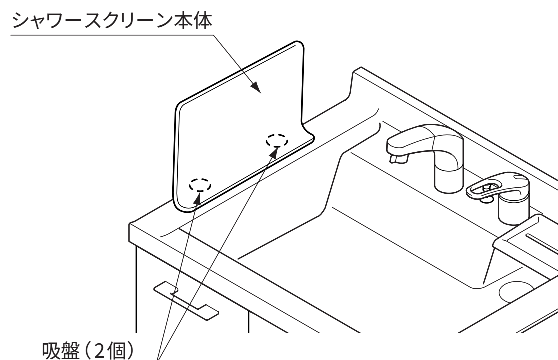
⚠ 注意

取り付けた後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている（ガタつき、異音がないか）ことを確認してください。

シャワースクリーン（BB-PD2）の取付け・取外し（オプション）

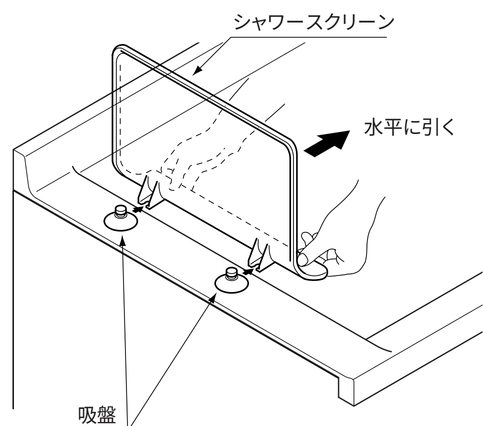
■取り付ける

①吸盤を取り付けるカウンターのホコリや水滴を
　よくふき取ります。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力
　が弱くなります。
②シャワースクリーンに吸盤を取り付けます。
③吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが
　垂直になるように、カウンターに取り付けます。



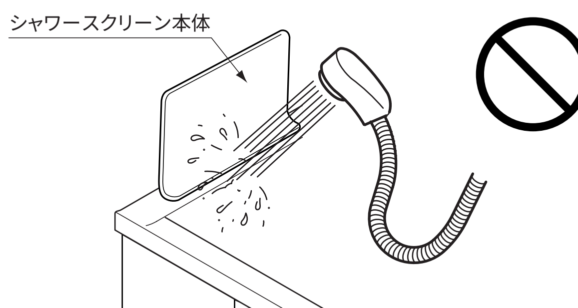
■取り外す

シャワースクリーンを内側にスライドさせて、
吸盤からシャワースクリーン本体を取り外します。
※吸盤はシャワースクリーン本体を取り外した後に
　カウンターから取り外します。



⚠ 注意

シャワースクリーンに直接水をかけない。
※シャワースクリーンは、洗面器周囲への水はねを
　抑えるためのものです。洗面器から水があふれる
　のを防ぐことはできません。



ご使用方法

用意するもの

汚れの種類や場所によって、適切な洗剤・道具を使用してください。
また、使ってはいけない洗剤もありますので、ご注意ください。

⚠ 注意

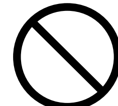
洗剤類、薬剤はそれぞれの」使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が破損し、ケガをする恐れがあります。



固形または粉末の塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。

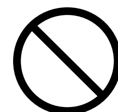
※水に反応して発生するガスが金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。



排水口に有機溶剤や薬品を流さない。

※排水管に穴が開いて、漏水する恐れがあります。





■道具

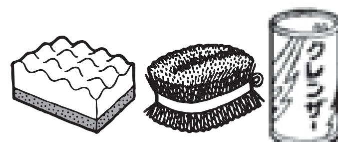
種類		
スポンジ		やわらかいポリウレタンフォームがお勧めです。
やわらかい布		ぞうきんやふきん、使い古したタオルやTシャツ等。
歯ブラシ		使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。
ゴム手袋		中に綿素材の手袋をして、ゴム手袋をすると肌荒れ防止になります。

■洗剤

種類		洗剤（例）
浴室用洗剤（中性）	水アカや石けんカス等の汚れに強い成分が配合されています。	お風呂のルック（ライオン）、マジックリン泡立ちスプレー（花王）
浴室用クリームクレンザー	キッチン用よりも粒子の細かい研磨剤が入ったクリーム状の洗剤です。	クリームクレンザージフ・バスクリーナー（ユニリーバ）、お風呂のルックみがき洗い（ライオン）
住宅用洗剤	手アカやホコリ等の汚れを浮かして落としやすくします。	かんたんマイペット（花王）、ルックオーツークリーナー（ライオン）
ガラスクリーナー	手アカ等の汚れを落とし、ふきムラが残りません。	ガラスマジックリン（花王）、ガラスルック（ライオン）
排水パイプ洗浄剤	配管内の汚れやヌメリを落とします。	時間半分密着ジェル（ジョンソン）、ルック濃厚パイプマン（ライオン）

お願い

お手入れの際に、研磨力の強いクレンザーや固いナイロンスポンジなどを使わないでください。
※キズが付く恐れがあります。



毎日のササッとお手入れ

汚れは放っておくと固くガンコな汚れになり、落ちにくくなります。次の2点をポイントに洗面ボウルまわりだけでも、1日の終わりにササッとお手入れする習慣を身につけましょう。







①ヌメリ汚れがつきやすい排水口のゴミを取り除きます。
②目立つ汚れがなくても、１日の終わりに洗面ボウル内と排水口をやわらかいスポンジか布と浴室用中性洗剤で、付着した石けん化する等を洗い流しましょう。
③鏡や水栓、カウンターに飛び散った水滴や、洗面ボウル内の水分をやわらかいきれいな布でふき取りましょう。



お手入れのポイント

汚れのモトを絶つ

石鹸や皮脂分が残っているとカビやヌメリ、金属石けんの原因になります。

ぬれたまま放置しない

水分が残っていると、水アカや輪染みの原因となります。
時間がたつと落ちにくくなります。

豆知識

水あかとは？
水アカは水道水に含まれるケイ酸がたまった汚れです。水に溶けないため放っておくとガンコな汚れになります。 こまめに乾いた布でふき取ってください。

金属石けんとは？
洗面ボウル内に発生する、白っぽいざらついた汚れです。 水道水に含まれる金属イオン（カルシウム、マグネシウム、銅等）と石けん成分や皮脂が結びついてできる汚れです。水に溶けないため、こまめなお手入れで石けんカス等を取り除いてください。

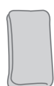
しっかりお手入れ

毎日のササッとお手入れに、週1度、月1度のしっかりお手入れを加えてキレイを保ちましょう。
それでも発生してしまったガンコな汚れは「汚れが目立つ場合」をご覧のうえ、適切にお手入れしてください。

鏡（くもり止めコートではない場合）

■汚れが目立つ場合





①ガラスクリーナーを鏡に吹き付けます。
②やわらかいきれいな布でクリーナーをふき取ります。
※鏡（くもり止めコート）のお手入れは 4ページ をご確認ください。



ご使用方法

水栓金具・カウンター

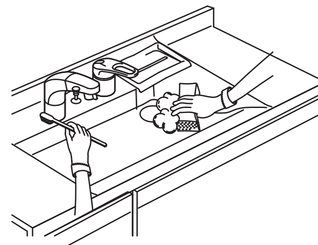
■週に1度



①やわらかい布、またはスポンジに浴室用洗剤を付けて汚れを落とします。
※水栓の根元など細かい部分は、やわらかい歯ブラシでこすってください。

②洗剤が残らないよう、水で洗い流すか、やわらかいきれいな布で水ぶきします。

③水栓金具、カウンターに残った水滴をやわらかいきれいな布でふき取ります。



■汚れが目立つ場合

LJボウルカウンターの場合



①やわらかい布またはスポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて円を描くように全体を磨きます。
※強い力で磨くと光沢が異なることがあります。4、5回磨いては水ぶきをくり返すと、力を入れずに汚れを落とせます。



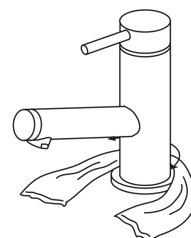
②クレンザーがのこらないよう、水で洗い流すかやわらかい布で水拭きします。

③残った水滴をやわらかいきれいな布でふき取ります。



ワンポイント

水栓金具のお手入れには使い古したストッキングがおすすめです。
水栓にぬらしたストッキングを巻きつけふくと、ストッキングの細かい繊維と伸縮性により、せまくてお掃除しにくい水栓裏もラクにお掃除できます。



スクエア・サークルボウルカウンターの場合



ワンポイント

磨き方によっては光沢がばらつきます。お手入れする箇所を中心に軽い力で周囲も磨いてください。



①やわらかい布またはスポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて円を描くように全体を磨きます。
※強い力で磨くと光沢が異なることがあります。4、5回磨いては水ぶきをくり返すと、力を入れずに汚れを落とせます。



②クレンザーがのこらないよう、水で洗い流すかやわらかい布で水拭きします。

③残った水滴をやわらかいきれいな布でふき取ります。

⚠ 注意

研磨力の強いクレンザーやメラミンスポンジを使用しないでください。
※キズを付けたり､表面の光沢を変える原因になります。

■深いキズ・欠けが発生した場合

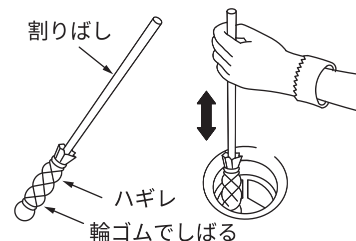
お客様による補修はおすすめできません。41ページ をご覧のうえ、修理・点検を依頼してください。

排水口

■週に1度のお手入れ



割りばしにガーゼやハギレを巻き、輪ゴムでしばっておそうじ棒を作ります。おそうじ棒に浴室用洗剤を数滴付けてヌメリ等の汚れを落とし、水で洗い流します。



排水トラップ

■月に1度のお手入れ



排水パイプ用洗浄剤を使用して、排水パイプ内のヌメリや汚れを取り除きます。
※排水パイプ用洗浄剤が排水口、排水パイプ以外に付かないように気をつけてください。変色や変形する場合があります。

キャビネット、ミラーキャビネット（鏡を除く）

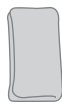
■週に1度のお手入れ



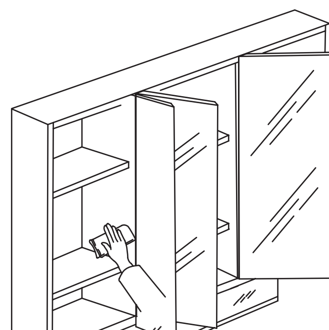
やわらかいきれいな布で水ぶきします。

■汚れが目立つ場合





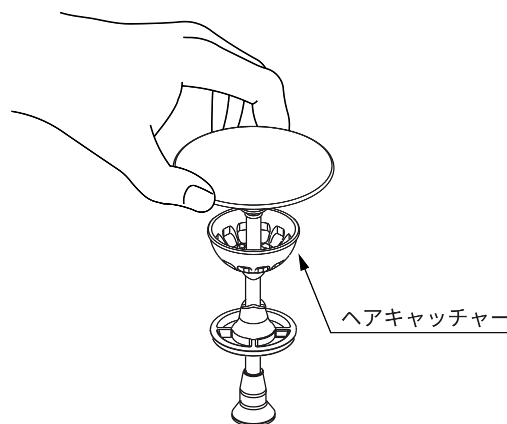
住宅用洗剤を付けたやわらかい布で、ホコリや汚れをふき取ります。



ご使用方法

排水口（ヘアキャッチャー）

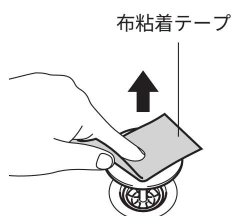
■排水栓を上方に引き抜きます。ヘアキャッチャー部分についているゴミを取り除き、排水栓を元通りはめ込みます。
■排水口内にぬめりがある場合は、浴室用洗剤をつけた歯ブラシ等でこすり落としてください。





ワンポイント

ヘアキャッチャーと軸の間に砂等がかむと、排水栓が上がらなくなることがあります。
そのときは、排水栓に布粘着テープを貼ったまま持ち上げて外してください。



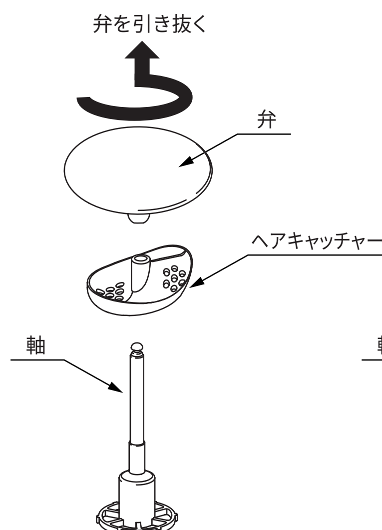
弁の外し方

軸を持ち、弁を引き抜きます。

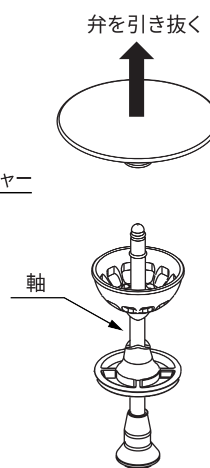
弁の付け方

“ カチッ ”と音がするまで弁を軸に差し込みます。

〈てまなし排水栓〉
（スクエア・サークルボウルの場合）



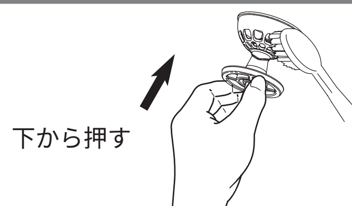
〈ラクとれヘアキャッチャー〉
（LJボウルの場合）





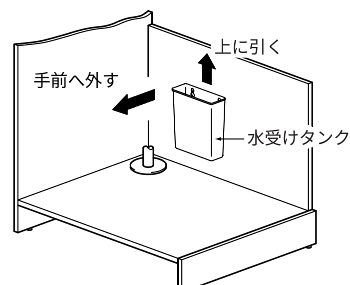
ワンポイント

●**ラクとれヘアキャッチャーの場合、押し上げて固定すると、ヘアキャッチャーが回らず、お手入れがしやすくなります。**



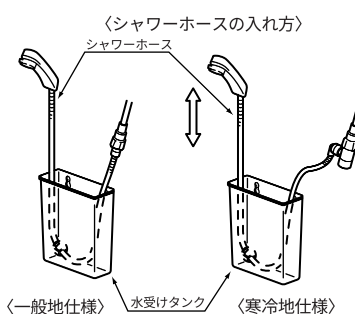
水受けタンク（SF-810S（N）-MB2、LF-E345SC（N）-MBの場合）

①水栓金具の吐水口を引出します。



②水受けタンクを上にずらし、手前に引いて取り外します。

③水受けタンクの中やその周辺を点検し、
　水が落ちているようなら、乾いた柔らかい布でふきとります。
④水をふきとった後は、取り外し方と逆の手順で
　タンクを元通りに取付けます。



⑤水栓金具の吐水口を元の位置に戻し、
　シャワーホースを水受けタンクの中に入れます。

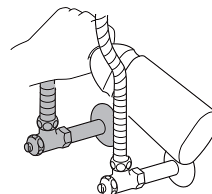
ご使用方法

長くお使いいただくために

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



吐出量が少なくなったと感じたら

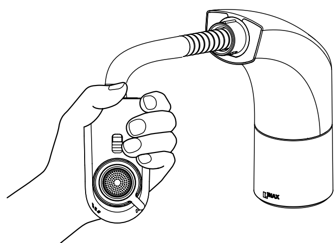
吐出口が詰まっている恐れがあります。吐出口のつまりは水栓の機能を低下させますので、水の出が悪くなったと感じたら、次の手順でお手入れしてください。

※詳細は水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

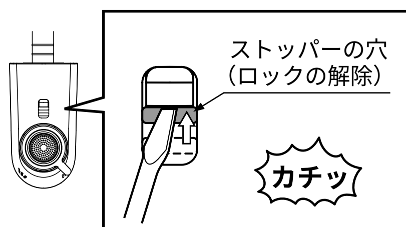
吐出口のお手入れ

SF-810S（N）-MB2の場合

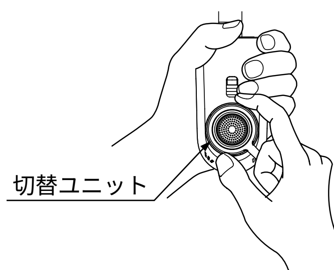
①ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。



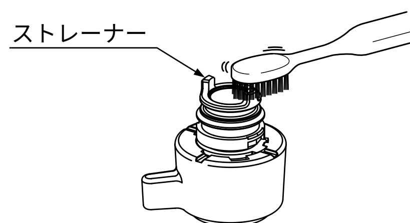
②小型のマイナスドライバーでストッパーの穴をスライドさせて、ロックを解除します。



③切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

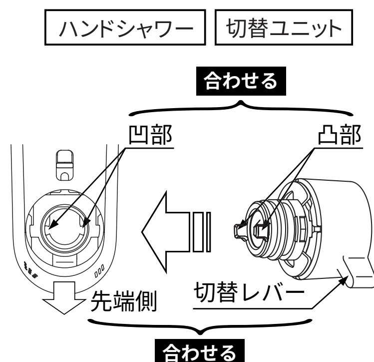


④取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。



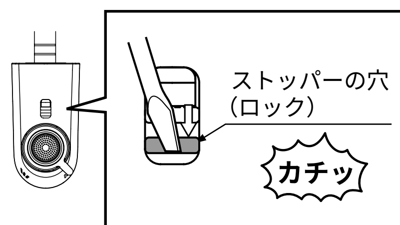
⑤切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。
※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。



⑥②の逆の要領で、ストッパーに穴をスライドさせてロックします。

※固くてスライドできなければ、⑤に戻り、切替ユニットをしっかりと差し込んでからやり直してください。

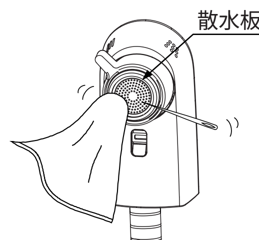


⑦切替ユニットを引っ張って、外れないことを確認してください。



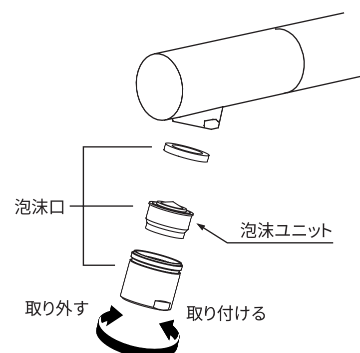
■散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。
また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。



LF-E345SC（N）-MB、LF-E340SC（N）-MB3の場合

①泡沫口の紛失を防ぐため、洗面器の排水栓を閉じます。
②泡沫口を工具（スパナまたはモンキーレンチ）で左に回し、取り外します。
※水栓に直接工具を掛けると、キズがつく恐れがあります。必ず布を当てて工具を掛けてください。
③内部のユニットを水洗いしてゴミを取り除き、元どおりに取り付けます。



長くお使いいただくために

吐出量が適切でない（多い・少ない）と感じたら

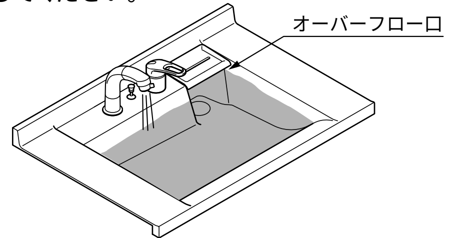
水量を調節する

適切な吐出量

ハンドル中央の位置（湯と水の中間）で全開にしたとき、8ℓ/分を超える場合は、止水栓で流量を調節してください。 ※LF-E345SC（N）-MBは、6.5ℓ／分にしてください。

流量8ℓ/分の目安 （ ）内は、6.5ℓ／分の場合

カウンター、洗面器タイプ	オーバーフローまでの満水時間
LJボウル	約1分20秒 （約1分40秒）
スクエア・サークルボウル	約1分30秒 （約2分）



> ⚠ **注意**
>
> **●必ず、流量調節をしてください。**
> ※使用時に水はねやオーバーフローした場合、家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

水量の調節

止水栓を操作して吐出量を調節してください。

お願い

止水栓を閉めるときは何回回したかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要になります。

※元の位置に戻しておかないと設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる恐れがあります。

① 水栓のハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）をマイナスドライバーで回して適量に調節します。
② 水栓のハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいのときの吐出量と同じになるように水側止水栓（向かって右）をマイナスドライバーで回して調節します。
③ ハンドル中央の位置（湯側と水側の中間）で吐出し、問題となる水はね等がないかを確認します。

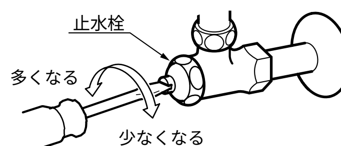
止水栓の操作

水量を多くする……調節部を左に回す

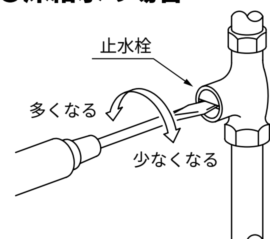
水量を少なくする…調節部を右に回す

水を止める…………調節部を右にいっぱい回す

●壁給水の場合



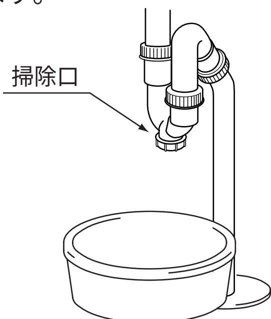
●床給水の場合



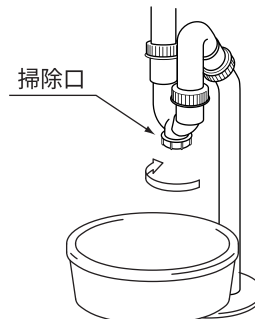
※上記調節方法はドライバー式止水栓の例です。

排水管のお手入れ

①排水トラップの掃除口の真下に封水を受ける容器を置きます。



②掃除口を手で回して取り外し、ゴミを取り除きます。



③掃除口を元通り取り付けます。

④水栓から水を流し、排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

⚠ 注意

ナット類はしっかりと締め付けてください。

※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

上記以外の締付ナット等に触れたり、外したりしないでください。

パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られた場合、必ず交換してください。



ワンポイント

排水トラップに水を流さないと、封水（下水からの臭いを遮断するため、管内にためておく水）が少なくなり、排水口から下水の臭いが漏れてくる恐れがあります。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず水を１０秒以上流してください。

※掃除をしても排水がスムーズにならない場合は42ページをご覧のうえ、点検・修理を依頼してください。

サイド収納化粧扉、ミラーキャビネット鏡扉の調節

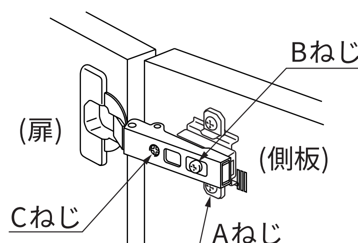
扉の調節

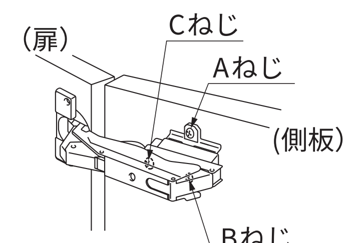
■準備するもの



プラスドライバー

■取付ねじの役割





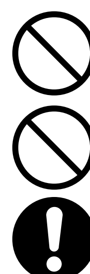
Aねじ ……… このねじを緩めると扉を上下に調節することができます。
Bねじ ……… このねじを左右へ回すと扉を前後に調節することができます。
Cねじ ……… このねじを緩めると扉を左右に調節することができます。

⚠ 注意

●A，B，C以外のねじには、絶対にふれないでください。
※扉が落下する原因となる恐れがあります。

●扉は外さないでください。

●ガタつく時は蝶番のAねじを締め直してください。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

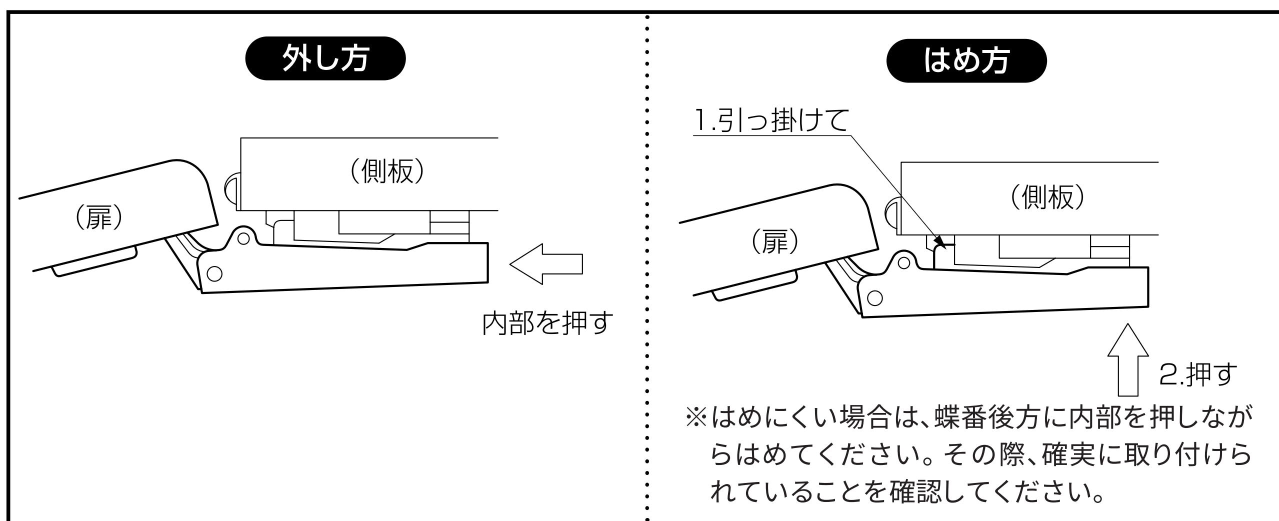


■調節方法

扉を閉めた状態	調節方法
1.扉の高さが上下（垂直方向）にずれている場合	(1) 上下2つの蝶番のAねじを緩める。(左へまわす) (2) ずれている扉の高さを合わせ、Aねじを締める。 ※ 調節範囲　上下方向に4mm程度
2.扉の先端が下がっている［上がっている］場合	(1) 下［上］の蝶番のCねじを約1回転ほど締める (右へ回す)。 (2) 扉を閉めて確認する。 (3) 正しい位置になるまで (1)～(2) をくり返す。 ※調節範囲　左右方向へ5mm程度 ※上記 (1)～(3) の調節で扉と扉のすき間が他のすき間と違ってきた場合は、上下の蝶番のCねじを同じ割合で回して調節してください。 ●右へ平行移動する場合・・・・・Cねじを右へ回す ●左へ平行移動する場合・・・・・Cねじを左へ回す
3.扉と側板のすき間が上下で違う場合	(1) 上の蝶番のBねじを左右へ回し、扉を動かして正しい位置にする。 ※ 調節範囲　前後方向へ4mm程度

※1枚の扉だけで調節できない場合は、両隣りの扉も含めて調節してください。

扉の外し方、はめ方



※はめにくい場合は、蝶番後方に内部を押しながらはめてください。その際、確実に取り付けられていることを確認してください。

⚠ 注意

取付後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番の緩みがないことを確認してください。
また、確認、調節後は全ての扉（蝶番）のAねじを固く締め付けてください。
※締付けが不十分な場合、使用中に扉が落下しケガをする恐れがあります。



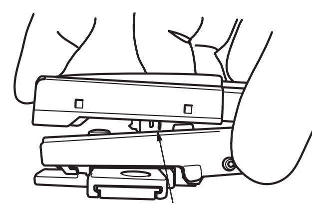
蝶番取付用ダンパーの着脱

取付け・取外しの際は、必ず保護用手袋を着用して行ってください。

■蝶番取付用ダンパーの着脱方法

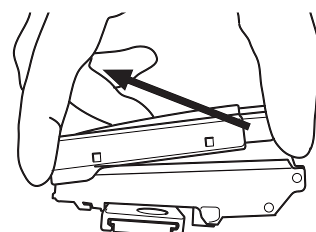
●取付方法

裏側に付いている茶色の爪を蝶番の窓穴の手前に当て上から押し、取り付けます。



●取外し方法

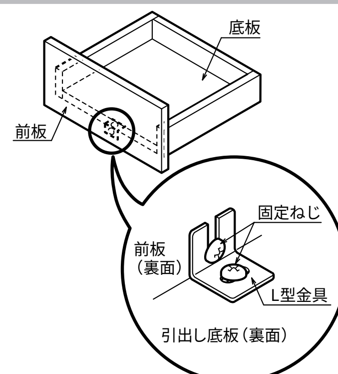
親指で樹脂部を持ち上げるようにして引き、取り外します。



フロートタイプキャビネットの引出しの調節方法

調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて（金具が動く程度）から行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

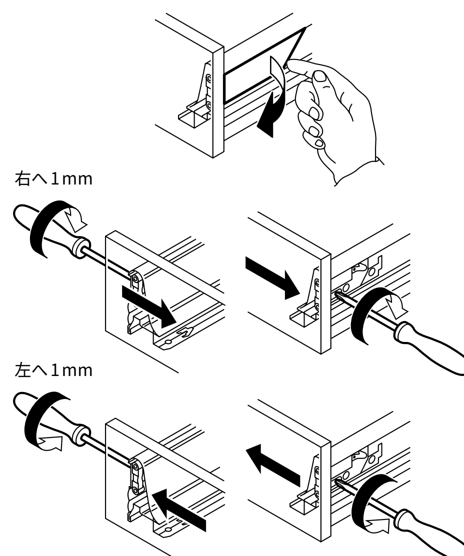


引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。

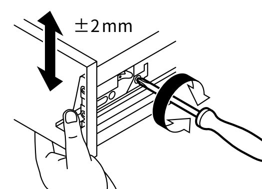
①左右の調節

右図のように、左右調節ねじを回し調節します。
・右へ移動する場合：ねじを右へ回す。
・左へ移動する場合：ねじを左へ回す。
※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方



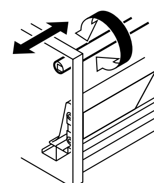
②上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。
・上へ移動する場合：ねじを右へ回す。
・下へ移動する場合：ねじを左へ回す。
※調節範囲：上下方向に各2mm（計4mm）程度。



③前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し、前板の傾きを調節します。
・前板を手前へ倒す場合：左へ（前板正面から見て）回す。
・前板を後方へ倒す場合：右へ（前板正面から見て）回す。
※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。

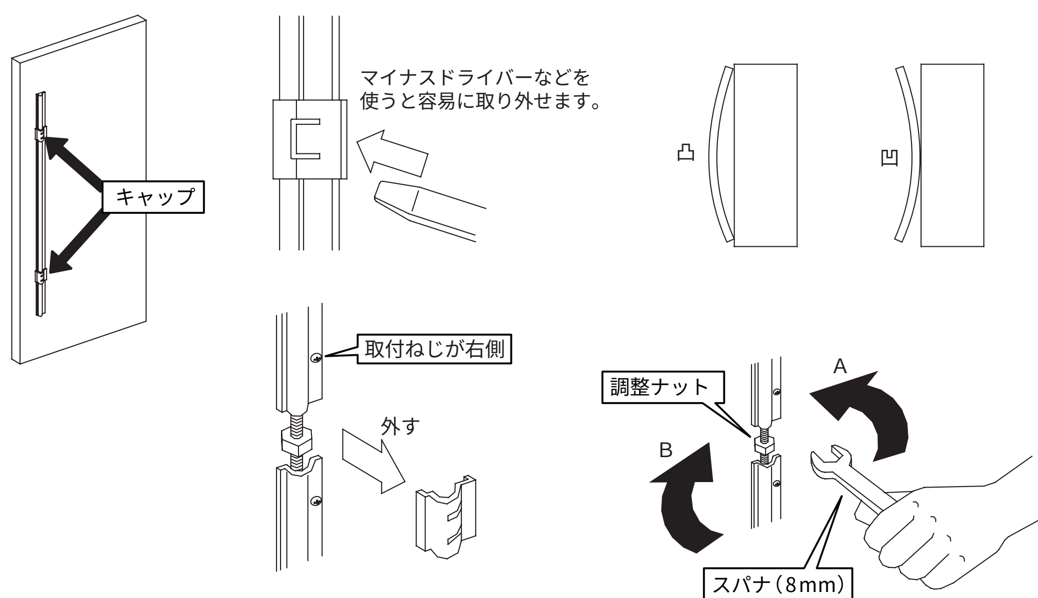


長くお使いいただくために

サイド収納化粧扉／反りの調整

扉が反っている場合、扉裏面に取付けられている「扉反り矯正金具」で反りを矯正することができます。
①キャップを取り外します。
②調整ナットを回して反りを調整ます。

※取付ねじが右（左）側の場合の調整
　<扉が凸に反っている場合>
　　調整ナットをA（B）の方向へ回します。
　<扉が凹に反っている場合>
　　調整ナットをB（A）の方向へ回します。



長くお使いいただくために

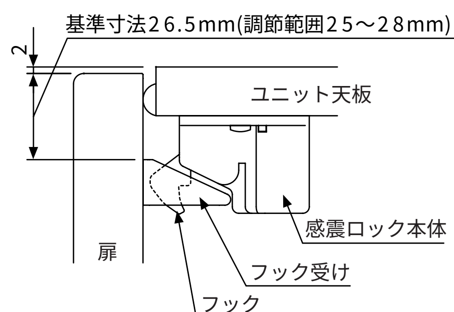
感震ロックの調節（オプション）

●オプション設定品のため、装備されていない場合があります。
●ミラーキャビネットが、壁面および床面に対して垂直・水平に設置されているか確認してください。
●ミラーキャビネットが、傾いていると、感震ロックが作動し、扉が開かなくなる恐れがあります。
以下の要領で調節を行ってください。

取付位置

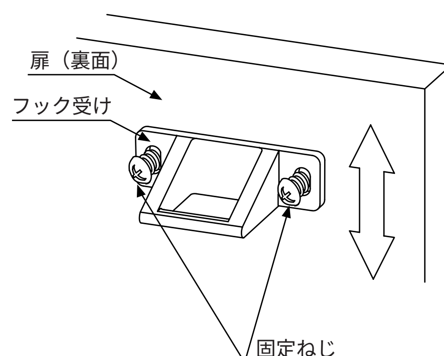
扉の調節後、感震ロック本体とフック受けが、右図のように正常な収まりになっているか確認します。基準寸法の位置にない場合は、扉の調節を行ってください。（30ページ 参照）

※フック受けが基準寸法より上の位置にあると、フック受けが本体に当たり、扉が閉まりにくい場合があります。
　また、フック受けが基準寸法より下の位置にあると、ロック機能が十分に発揮されない場合があります。



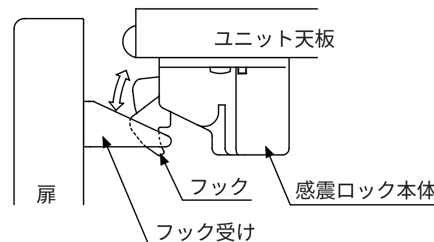
調節方法

①フック受けを固定している固定ねじをゆるめ、長穴の範囲内（上下±1.5mm）で調節し、固定ねじを締め付けます。
　※調節完了後の固定ねじの締付けは、固定ねじを空転させないようご注意ください。
②フック受けを調節してもスムーズに開閉できない場合は扉の調節（30ページ 参照）を行い、調節してください。



作動確認

調節後、扉を開くことにより、フックがフック受けに当たってスムーズに上がり、扉を閉めることにより、フックが完全に下りることを確認してください。



ロック解除方法

揺れや傾きを感知すると、フックが下りた状態でロック機能が作動します。揺れがおさまり、ユニットの傾きが3°以下になると、ロックは自動的に解除されます。

※ユニット本体と扉の間にびん等がはさまってしまった場合や、びん等が扉に寄りかかった状態では、扉が少し開いた状態でロックが維持されます。
　扉を一度閉めてロックを解除し、扉に寄りかかった収納物等が倒れて落下しないように、ゆっくり扉を開いてください。

長くお使いいただくために

冬期凍結の恐れがある場合

水栓の水抜き（寒冷地仕様）

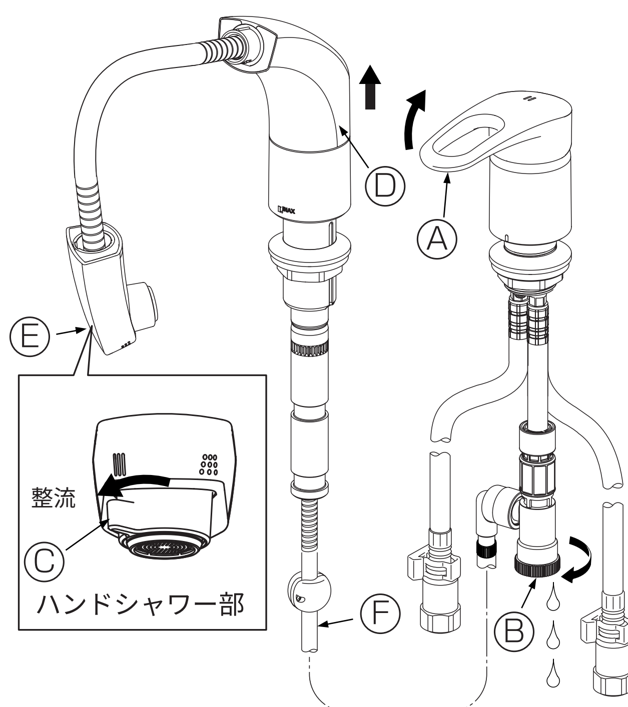
⚠ 注意

凍結が予想される場合は、下記の手順で必ず水抜きを実施してください。
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。



シングルレバーシャワー水栓（SF-810SN-MB2）の場合

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。
② レバーハンドルⒶを上げる。
③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に回して開ける。
　※そのまま30秒間放置する。
　※洗面器等で排出される水を受けてください。
④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
⑤ 吐水口レバーⒸを整流に切り替える。
⑥ ガイド管Ⓓを引き上げ、ハンドシャワーⒺを引き出し、振って水をよく切る。
⑦ ホースⒻを水抜栓Ⓑより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
⑧ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉める。
　※水抜完了後は忘れずに水抜栓Ⓑを閉めてください。



長くお使いいただくために

吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-E345SCN-MB）の場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓓの下に洗面器をあてがった後、水抜栓Ⓓを矢印の方向に回して開ける。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

⑤ 吐水口部Ⓑを引き出し、振って水をよく切る。

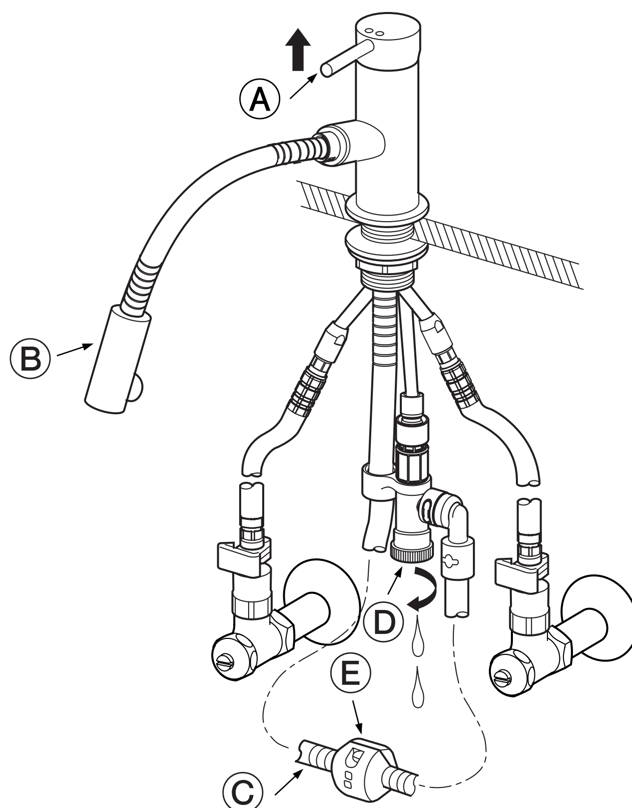
⑥ ホースⒸを水抜栓Ⓓより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑦ 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルⒶを閉める。

※開けたまま放置するとレバーハンドルⒶを閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓Ⓓを閉めてください。

※ホースストッパーⒺを外した場合は、元の位置に取り付けてください。



シングルレバー混合水栓（LF-E340SCN-MB3の場合）

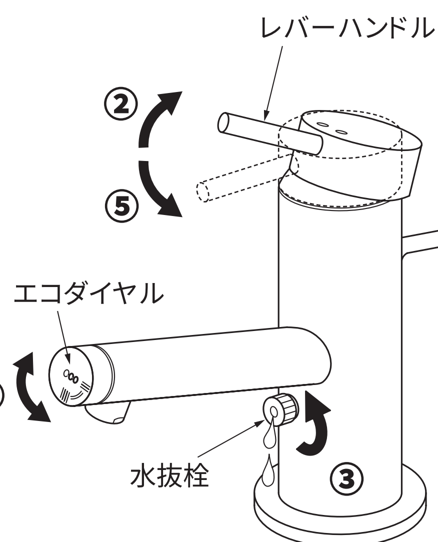
① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルを中央位置にあわせて上げます。
（水と湯の中間で全開にする。）

③ 水抜栓を下に回して開けます。

④ エコダイヤルを2～3回左右に回します。

⑤ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを閉めます。
※開けたまま放置すると、凍結してレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。
その場合は無理な操作をせず、通水または自然解凍してください。
※再通水前には水抜栓を閉めてください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■鏡　扉

症状	原因	処置	参照ページ
Q 扉が開かない	A 感震ロックがかかっている（感震ロック付きの場合）	ロックを解除します	P34
Q 扉の先端が上がっている	A 蝶番の位置調節が合っていない	扉の蝶番を調節する	P30
Q 扉の先端が下がっている	A 蝶番の位置調節が合っていない	扉の蝶番を調節する	P30
Q 扉の側板のすき間が上下で異なる	A 蝶番の位置調節が合っていない	扉の蝶番を調節する	P30
Q 扉の位置が上下異なる	A 蝶番の位置調節が合っていない	扉の蝶番を調節する	P30

■くもり止めコート

症状	原因	処置	参照ページ
Q 鏡がくもるようになった	A くもり止めコートが汚れて効果が発揮できない	指定されたおそうじ方法を参考に鏡のおそうじをする	P4

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■キャビネット

Q	A	処置	参照ページ
扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	P30
扉の先端が下がっている 扉の先端が上がっている 扉と本体のすき間が上下で異なる 扉の位置が上下異なる	蝶番がゆるんでいる	扉のずれを調節します	P30
ミドル収納扉の調整	扉が反っている	扉の反りを調整します。	P33
フロートタイプの引出しの開閉が滑らかでない	引出し前板がずれている	引出し前板のずれを調節します	P32

■水　栓

Q	A	処置	参照ページ
吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P28
	浴室等で湯を使っている	他の場所で湯を使わないようにします	
水が止まらない	パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P41
水を止めた後に、少しの間水が垂れる	構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	

■排水口

Q	A	処置	参照ページ
水がたまらない	排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P41
洗面器から水があふれる	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P28
排水しない、あるいは排水がスムーズでない 排水栓が開閉しない	排水口が詰まっている	排水口あるいは排水トラップを掃除します	P29
	ゴミや砂がかんでいる	ヘアーキャッチャーを掃除します	P24

■排水トラップ

Q	A	処置	参照ページ
漏水する	排水トラップの締付ナットがしっかり締め付けられていない	締付ナットをしっかり締めます	P29
	パッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P41

■カウンター

Q	A	処置	参照ページ
部分的に光沢が違う	特定の箇所を集中してお手入れした	全体を磨きます。アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P41

■仕様

（こちらは標準仕様です。特注により内容が変わる場合があります。）

カウンター			
タイプ	サークルボウルカウンター	スクエアボウルカウンター	LJボウルカウンター
品番	B1C-600N	B1S-600N	B1L-600N
タイプ	人造大理石（ポリエステル系樹脂）		
サイズ 注:ベースキャビネットをセットした（幅×奥行き×高さ）	（880～1500）×600×850	（880～1500）×600×850	（880～1500）×605×850
カラー	MW-01:マットプレーンホワイト	MW-01:マットプレーンホワイト	PH-01:プレーンネオホワイト
ボウル容量	12L	12L	11L
付属品	—	—	ウェットパレット

化粧台共通項目	
本体	アルミ、MDF、パーティクルボード
扉カラー	・アースカラーシリーズ　X＊2（PETシート） ・クリエカラシリーズ　L＊2（オレフィンシート） ・フロウシリーズ　A＊2（ウレタンコート紙）

ミラーキャビネット	
タイプ	3面鏡／5面鏡
品番	KMB1＊T…
本体	木組構造（合板、パーティクルボード）
鏡	防湿鏡
ジョイナー	アルミニウム
カラー	グレー
くもり止めコート	中央鏡：くもり止めコート付き
付属部品	棚板6枚
ソフトサイレンス	各扉
以下オプション品	
コンセント	2個口：使用電力は合計1300Wまで
感震ロック	各扉

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」38ページを参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはINAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

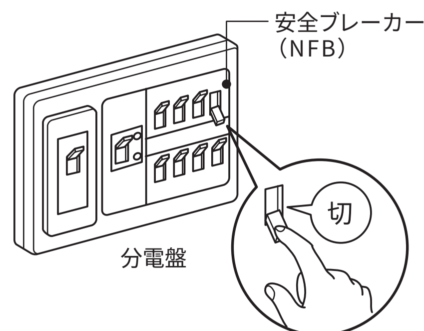
- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●異常を感じたとき

上記の場合そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

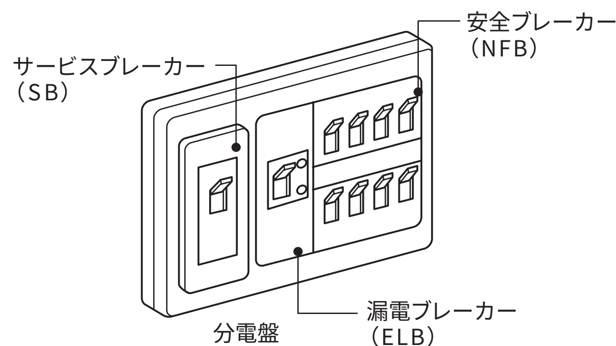
⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。
※異常のまま運転を続けると火災や漏電・漏水の原因になることがあります。

ミラーキャビネット周辺で異臭や異常音がする場合は、電気機器のスイッチ及び分電盤の安全ブレーカーを切り、速やかに修理を依頼してください。
※異常のまま使用を続けると火災や漏電の原因になることがあります。



洗面室の電気機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、速やかに修理を依頼してください。
※洗面室の電気機器などに異常がある恐れがあります。
作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの原因となることがあります。



保証書をご覧ください

保証書（裏表紙）は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常等については保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●水栓や排水トラップのパッキン等の消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの販売店またはINAXメンテナンスに修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←「品番を調べる」1ページ 参照
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←「故障かな？と思ったら」38ページ 参照
●ご訪問希望日
※お客さまからご連絡頂く氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。
なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お買い求めの販売店、またはINAXメンテナンスに連絡してください。
●お買い求めの販売店
●**INAXメンテナンス**　365日受付＆修理
TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～20：00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合があります。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番：ライフデザインドレッサー LX		
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日　年　月　日
お客さま	おなまえ おところ おでんわ　(　　)　ー　　無効	取扱店名 TEL　(　　)　ー

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはINAXメンテナンスにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2) 指定業者や取付説明書等に基づかない設置及び取付けに起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(15) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30
受付時間：平日　9:00～18:00
土日・祝日　10:00～18:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はINAXメンテナンス修理受付センターへ
TEL 0120-1794-11　FAX 0120-1794-56
受付時間：9:00～20:00
（365日受付）

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　　　　　9：00～18：00
　　　　　土日・祝日　10：00～18：00
　　　　　（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
　下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
INAXメンテナンス修理受付センターへ　365日受付

TEL 0120-1794-11

受付時間　9：00～20：00

FAX 0120-1794-56

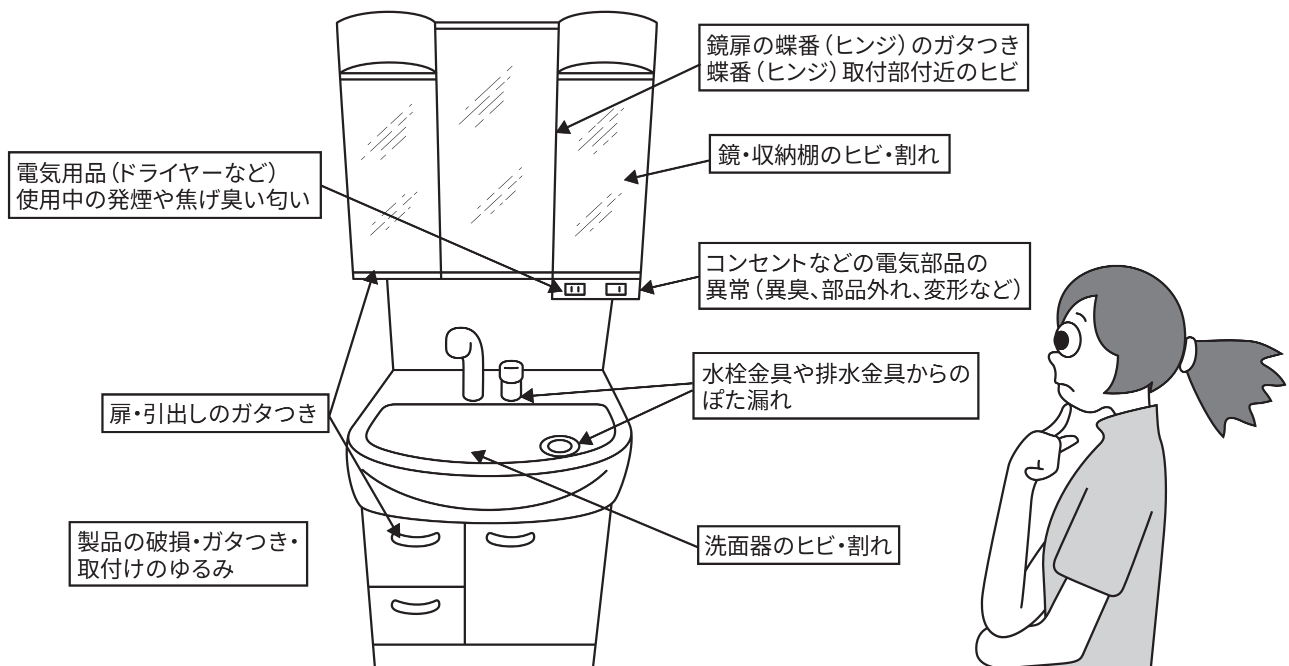
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはＩＮＡＸメンテナンスに修理をご依頼ください。



GMB-0353（11040）

袋:PE